

富谷複合型サービス事業所あおい です。



施設外観



個別リハビリテーション

介護予防教室の様子

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、看護小規模多機能型居宅介護という体制でケアを提供させていただいております。看護小規模多機能型居宅介護とは、小規模多機能型居宅介護と訪問看護を合わせたサービスです。通所看護、短期入所、訪問看護、訪問介護を一体的に利用することができます。
- ・2名の理学療法士が在籍しており、自宅への訪問リハビリはもちろん、富谷市在住の人達への介護予防教室も定期的に開催しており、現在の自身の身体機能や能力低下を知り、運動を通して楽しく予防していく活動を行っております。
- ・利用者様を対象に、集団リハビリテーションや個別リハビリテーションを提供させていただき、住み慣れた地域で自分らしく暮らしたいという利用者様の想いを尊重し、安心安全に在宅生活を続けていけるよう私達職員はサポートさせていただいております。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

富谷複合型サービス事業所あおい

住所：〒981-3302 富谷市富谷一枚沖 10 番地

電話：022-348-0565 / ファクシミリ：022-348-0566

黒川
地区

リハビリネットワーク通信

第24号

(平成31年1月発行)

発行元：

宮城県仙台保健福祉事務所

健康づくり支援班

022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

Q. 他職種協働となって行わなければならない仕事柄、業務に関する情報の共有や共通意識が大事だと思われま。一人一人の職員が同じ情報の共有ができ、行動することができるようにするために配慮されていることがあれば教えてください。(介護老人保健施設富谷の郷)

A. 当施設は、看護師、理学療法士、介護士、調理士、ケアマネジャー、ドライバー、事務職といった多職種が在籍しています。一人の利用者様と関わる上で、情報収集や共有はとても重要です。課題に対し、複合サービス事業所だからこそその多職種が意見を出し合い、改善策を導き出していくことは、共有や連携はもちろん、その方に必要な「統合」した手厚く個別的なケアを提供していくために必要であり、ケースカンファレンスをととても大切にしております。

共有や連絡だけでなく、一体的な職種間の壁を越えた統合ケアが、複合型サービスの良さだと言えるでしょう。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：くろかわ訪問看護ステーション
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 訪問に行った際、どういった事に気を付け、また、本人や家族との関係性をどのように工夫されていますか。御教授ください。

「大丈夫 その一言が サインだよ」(理学療法士)
 【解説】「大丈夫」と頑なに言ったときに限って、転倒やヒヤリとしたことが。

「その笑顔 疲れが飛んで 癒される」(理学療法士)
 【解説】利用者様の無条件の満面の笑みを見ると、こちらも笑顔になります。

「探し合う 家族のような 関係性」(理学療法士)
 【解説】体調不良で通いをお休みしていたり、入浴やお手洗いで少しの間、席を外すだけで利用者様同士思いやり心配して探し合う姿は家族のよう。

リハビリ川柳